



天文資料

2025年 4月号

令和7年度 第1号 (4月号)

令和7年3月25日

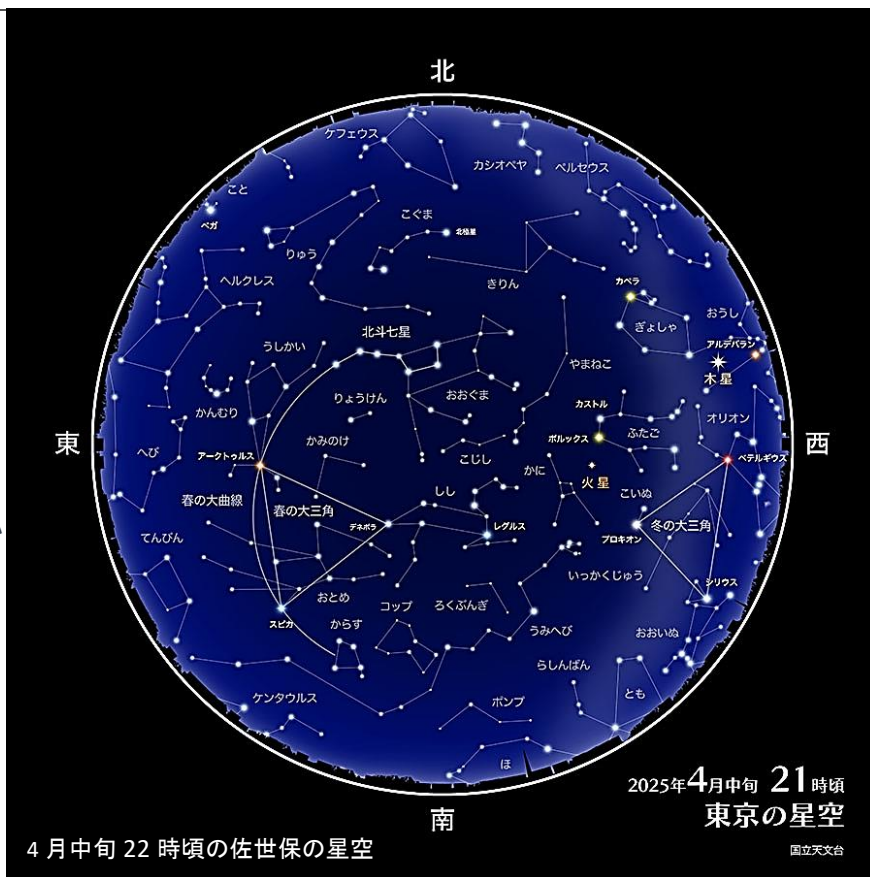
発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



＜月が木星と火星に近づく＞

4月は、「月」に注目してみましょう。2日から3日にかけて、細い月が木星に接近します。最も近づくのは、3日の朝ですが地平線の下にあり見ることはできません。その前後の宵の空で、月と木星が近くに並ぶ様子が見られます。5日から6日にかけては、月は火星に近づきます。また、月末の30日から翌日にかけては、満ち欠けが一回りして三日月となった月が、再び木星に近づきます。月や惑星は、太陽



の見かけの通り道「黄道」に沿って動いていきます。これは、地球や惑星が太陽の周りを、月が地球の周りを回っている(公転している)ために起こるのです。



- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| ・4日 清明(太陽黄経15度) | ・20日 穀雨(太陽黄経30度) |
| ・5日 上弦 | ・21日 下弦 |
| ・6日 水星が留 | ・22日 水星が西方最大離角/22時頃、4月こと座流星群が極大 |
| ・10日 金星が留 | ・27日 金星が最大光度(-4.8等) |
| ・13日 満月(2025年で地球から最も遠い満月) | ・28日 新月 |
| ・17日 土用の入り(太陽黄経27度) | ・29日 昭和の日 |

周期的に変化する地球と月の距離

地球の周りを公転する月の軌道は楕円形をしているため、地球と月との距離は常に一定ではありません。さらに、月の軌道も太陽や地球などの重力を受けて変化するなど、複雑な仕組みが働いているため、公転の中で最近・最遠となるときの距離も一定ではなく変化しています。満月や新月となるタイミングを重ねると、毎回異なる距離で起こっていることがわかります。4月の満月は、2025年中の満月としては最も遠い位置で起こります。月は4月13日9時22分に満月となり、翌日の14日7時48分に遠地点を通過します。